

## ブック

英語にコンプレックスを感じている日本人は多い。「グローバル化に対応した英語教育改革の5つの提言」

以来、英語力の向上を目指して英語教育改革が進められてきた。

本書では、この改革における課題等が、鳥飼氏と齋藤氏の対談形式で語られている。

第1章では、「大衆入学共通テスト」について、延期の経緯と「スピーキングに対するコンプレックス」を挙げ、「本当に必要なのは、読み書きの能力」「人とのコミュニケーションでできる能力を磨くこと」を示唆している。第2章では、「英語ができないきやいけないという強迫観念に駆られている」「ことに警鐘を鳴らし、「すべて英語で授業を行うことによる質の低下」への懸念を語っている。第3章では、「小学校英語」について、

著者 鳥飼 玖美子、齋藤 孝  
924円 中公新書7クレ  
☎0120-29-9625

### 英語コンプレックス 粉碎宣言

鳥飼玖美子 齋藤 孝



### 英語コンプレックス 粉碎宣言

「早くからやればべらべら話せるようになる幻想」が生み出した教育政策であることを主張し、小学生の特質を活かすために、「音声」指導を挙げ、教職課程では「音声学」を必修にすることや小学校では「きらきら星」を英語で歌うこと等を具体的に提案している。中学生編の第4章では、

「A・L・T」と日本人教師の役割の明確化」「文法と音読をクルマの両輪のようにならぶこと」と「語彙力強化のために文学作品を読むこと」等を、高校編の第5章では、日本語でも英語でも質問に対して的確に答えることができる人材を育成すること等を主張している。終章では、とりあえず話したい人へのknow-howを示している。「自分で工夫して英語を学ぶことで人間として成長して強くなる。英語コンプレックスを粉碎するためには、とことん英語を学ぶに限る」という結論に深く納得した。(愛知教育大学教授・高橋美由紀)